



東京アニメアワードフェスティバル実行委員会  
 一般社団法人 日本動画協会  
 2015年2月17日

### 東京アニメアワードフェスティバル 2015

# 『アニメ オブ ザ イヤー』ノミネート作品決定！ 社会現象化した作品多数、納得の話題作が揃い踏み



「アナと雪の女王」©2015 Disney



「かぐや姫の物語」©2013 畑事務所・GNDHDDTK



(C)創通・サンライズ



©2014「STAND BY ME ドラえもん」製作委員会

東京アニメアワードフェスティバル(TAAF)は、アニメーションの振興を目的とした国際アニメーション映画祭で、2015年は、3月19日～23日に開催いたします。この度 TAAF2015の「アニメ オブ ザ イヤー部門」劇場映画部門・テレビ部門ノミネート作品が決定となりましたので、発表いたします。

部門	タイトル (五十音順)	監督名	公開年
劇場映画部門	<b>アナと雪の女王</b> ＜英題：FROZEN＞	クリス・バック ジェニファー・リー	2013年
	<b>かぐや姫の物語</b> ＜英題：THE TALE OF THE PRINCESS KAGUYA＞	高畑勲	2013年
	<b>機動戦士ガンダムUC (ユニコーン) episode 7「虹の彼方に」</b> ＜英題：MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN EPISODE 7 OVER THE RAINBOW＞	古橋一浩	2014年
	<b>STAND BY ME ドラえもん</b> ＜英題：STAND BY ME DORAEMON＞	八木竜一 山崎貴	2014年
テレビ部門	<b>シドニアの騎士</b> ＜英題：Knights of Sidonia＞	静野孔文	2014年
	<b>ピンポン THE ANIMATION</b> ＜英題：PINGPONG THE ANIMATION＞	湯浅政明	2014年
	<b>妖怪ウォッチ</b> ＜英題：YO-KAI WATCH＞	ウシロシンジ	2014年
	<b>ラブライブ！</b> ＜英題：Love Live！＞	京極尚彦	2014年



TAAFの「アニメ オブ ザ イヤー部門」は、この1年間(2013年11月1日～2014年10月31日)に、日本国内で上映・放送された全作品を対象に、多くのファンを魅了し、かつ、現在のアニメーションの技術・独創性・商業性・ストーリー性などで業界にも多大な影響を与え、後世に受け継がれるべきと判断された作品、ならびに個人を表彰する部門です。

今回、発表させて頂く「アニメ オブ ザ イヤー」劇場映画部門・テレビ部門のノミネート作品は、日本動画協会会員社、そしてアニメに携わり第一線で活躍するアニメプロデューサー陣、総勢 100 名の専門的な視点によって厳正に選考されたものです。

本年度も『アナと雪の女王』『かぐや姫の物語』など、今まさにアカデミー賞にノミネートされている作品、そして『妖怪ウォッチ』をはじめ、社会現象を巻き起こした話題作が選ばれております。

なお、「アニメ オブ ザ イヤー」劇場映画部門・テレビ部門の受賞作品(グランプリ、優秀賞)は、上記各ノミネート作品の中より決定させていただき、TAAF2015 の会期中に発表いたします。

また、このアニメ オブ ザ イヤー部門にノミネートされた作品のうちの多数が、東京アニメアワードフェスティバル 2015 の会期中である 3 月 19 日(木)～3 月 23 日(月)に「TOHOシネマズ 日本橋」にて、ノミネート記念としての特別上映などを行う予定です。

#### 【東京アニメアワードフェスティバル 2015 会期中のスクリーニング上映について】

東京アニメアワードフェスティバル 2015 では、コンペティション部門のノミネート作品、その他特別プログラムをTOHOシネマズ 日本橋にて一般上映をいたします。本リリースで紹介させて頂きました「アニメ オブ ザ イヤー部門」のノミネート作品からも、多数の作品の特別上映やイベント実施が予定されております。

※ チケットは、2月28日より、順次発売を予定しております。

※ チケットの発売はTOHOシネマズ インターネットチケット“ vit ”にて行います。

TOHOシネマズ インターネットチケット“ vit ” <http://www.tohotheater.jp/vit/>

#### 【東京アニメアワードフェスティバル 2015 開催概要】

- 会期： 2015年3月19日(木)～3月23日(月)
- 会場： TOHOシネマズ 日本橋
- 主催：東京アニメアワードフェスティバル実行委員会／一般社団法人 日本動画協会
- 共催：東京都
- 後援： 外務省、観光庁、経済産業省、文化庁、中央区、国際交流基金、日本政府観光局 (JNTO) 日本貿易振興機構 (JETRO)、イスラエル大使館、フランス大使館、カナダ大使館